

HDDコピーツール〈CloneDrive2〉

# 取扱説明書



1. 概要.....	3
2. 対応OS・対応機種 .....	4
3. ソフトウェアを起動する.....	5
4. ソフトウェアの使用方法.....	8

- OSがインストールされたHDDやSSDのデータを、本製品に接続したHDD/SSDにコピーすることができるクローンソフトウェアです。
- OSなどのシステム情報も丸ごとコピーされるため、コピー後のHDD/SSDをPC内蔵のHDD/SSDと取り替えるだけで、以前と同じように使用することができます。
- HDD/SSD内のデータ使用容量、パーティションを判断してコピーを行うので、小容量→大容量HDD/SSDにコピーを行った際でも、あとからパーティション操作を行う必要はありません。  
また、フィルター機能でコピーするパーティションやファイルを選択することもできるので、大容量HDDから小容量SSDにコピーして入れ替えることで、転送速度の高速化することもできます。

※画面は開発中のものにつき、仕様は予告なく変更される場合がございます。

※すべての環境での動作を保証するものではありません。

## 【対応OS】

### ■Windows 10 / Windows 8.1 (8) / Windows 7 / Windows Vista

※Windows RT、Starter Edition、Embedded、Enterprise、mobileは動作対象外となります。

※Windows Updateにて最新の状態(Service Pack含む)にしてご使用ください。  
最新ではない環境での動作はサポート対象外となります。

## 【対応機種】

### ■USB3.0 / 2.0インターフェイスポートを搭載したWindows PC

※intelチップセット搭載モデル推奨。

※本ソフトウェアはCROS2U3RVがPCと接続されていないと動作しません。

※付属のソフトウェアをインストールする際は、光学ドライブおよびインターネット接続環境が必要です。

### 動作確認済みUSB3.0ホストコントローラ

- intel H87チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ
- intel Z77チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ
- Asmedia Asm1042 USB3.0ホストコントローラ
- ETron EJ168 USB3.0ホストコントローラ
- Frescologic FL1100 USB3.0 ホストコントローラ
- RENESAS(NEC)  $\mu$ PD720200/202 USB3.0ホストコントローラ
- VLI VL800 USB3.0ホストコントローラ

※USB3.0で接続する場合は、USB3.0ホストインターフェイスが必要になります。

従来のUSB2.0ホストにも接続できますが、その場合の転送速度の上限はUSB2.0(480Mbps)になります。

※各ホストコントローラのドライバは最新のものをご使用ください。

1 CROS2U3RV付属のソフトウェアCD-ROMをPCにセットして開きます。

2 Software>CloneDrive2>CloneDrive2.exeをダブルクリックすると、ソフトウェアが起動します。

ソフトを頻繁に使用する場合は、デスクトップなど任意の場所にコピーしてください。

※お使いの環境により、ユーザーアカウント制御の画面が出る場合がありますので、「はい」をクリックしてください。



- 3 初回起動時にシリアル番号を入力する画面が表示されます。  
お使いのPCがインターネットに接続されていることをご確認の上、本体底面に貼付されているシリアル番号を入力し **アクティベーション** をクリックしてください。

アクティベーションキーを入力してください。

PRODUCT ACTIVATION KEY  
SAVE THE KEY - This is official authorization of license  
FNet CloneDrive2 XX000-0000000  
XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX

ご使用の環境がインターネットに接続されているかご確認の上、  
アクティベーションをクリックしてください。

アクティベーション 閉じる



注意

HDDが接続されている状態でCROS2U3RVの底面を見ると、  
HDDが脱落する可能性があり、危険です。  
あらかじめシリアル番号を控えておくか、HDDを接続していない  
状態でアクティベーションを行ってください。

◆アクティベーションに失敗する場合、次のことを確認し、再度入力を行ってください。

• インターネット環境に接続可能なPCか。

※ウィルスセキュリティソフト等のファイヤーウォールを使用している場合、アクティベーションに失敗する場合があります。

一時的にファイヤーウォールをオフにし、アクティベーション完了後に再度ファイヤーウォールをオンにしてください。

• シリアル番号の「0」（数字のゼロ）と「O」（アルファベットのオー）、  
「1」（数字のいち）と「I」（アルファベットのアイ）を間違っていないか。

※シリアル番号の入力の際は、必ず半角英数字で入力してください。

※数字の0（ゼロ）には斜線が入っています。



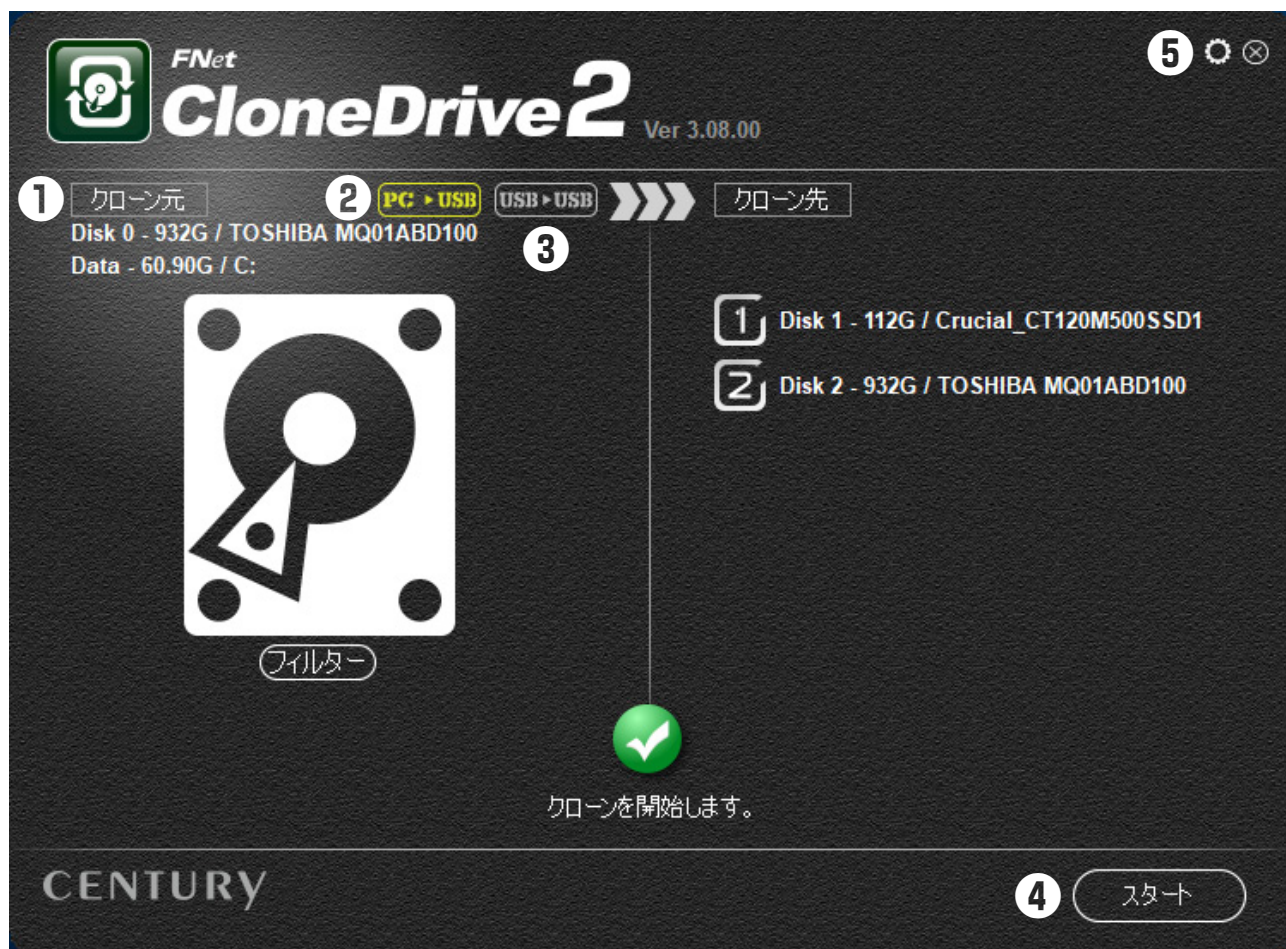
注意

- すでにデータが入っているHDD/SSDをコピー先として使用する際は、必ず別メディアにバックアップ等を行ってください。コピーを行うと、データは上書きされ、元のデータはすべて消去されます。  
**コピーを途中で停止した場合もデータは復元されませんのでご注意ください。**
- コピー先のHDD/SSDはコピー元の容量より小さい場合でもコピーは可能ですが、その際は**使用しているデータ総容量がコピー先HDD/SSDより少ない必要があります。**データ総容量がコピー先より多い場合、コピーを開始することができません。





- 1 ソフトウェアを起動すると、メイン画面が表示されます。



1 クローン元	クローン元HDD/SSDを選択します。 標準では起動ディスクが選択されています。
2 PC > USB	PCに内蔵されているHDD/SSDから、CROS2U3RVに接続しているHDD/SSDへコピーをします。 ※接続するスロットはどちらでも構いません。 ※CROS2U3RVにHDD/SSDを2台接続してコピーをすると、2台とも同じパーティションサイズでデータがコピーされます。 【例】120GB、1TBへコピーした場合、1TB側が120GBのパーティションサイズになります。残りは未割り当ての領域になります。
3 USB > USB	CROS2U3RVに接続されている2台のHDD/SSD間でコピーをします。 ※HDD1がコピー元、HDD2がコピー先になります。コピー先のデータが消失しますので、コピー元、コピー先を間違えないよう十分に気をつけてください。
4 スタート	スタートをクリックするとコピーを開始します。
5 (設定)	通常は変更する必要はありません。



- 2 システムドライブコピーを行うか、ローカルコピーを行うかを選択します。
- システムドライブコピーの場合： **PC → USB** を選択します。  
PCに内蔵されているHDD/SSDから、CROS2U3RVに接続しているHDD/SSDへコピーをします。





2

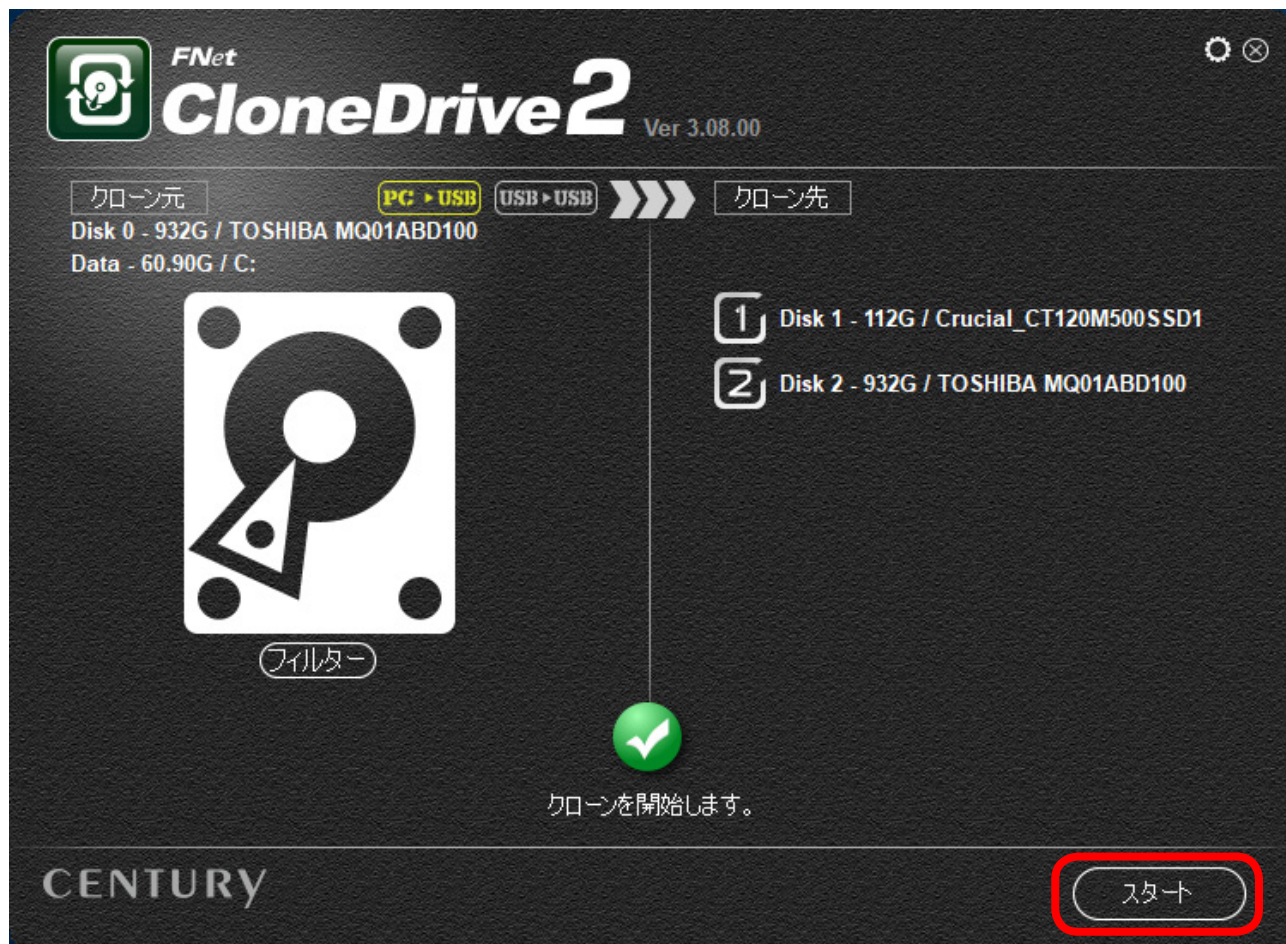
- ローカルコピーの場合： **USB > USB** を選択します。

CROS2U3RVに接続されている2台のHDD/SSD間でコピーをします。  
※HDD1がコピー元、HDD2がコピー先になります。コピー先のデータが消失しますので、コピー元、コピー先を間違えないよう十分に気をつけてください。

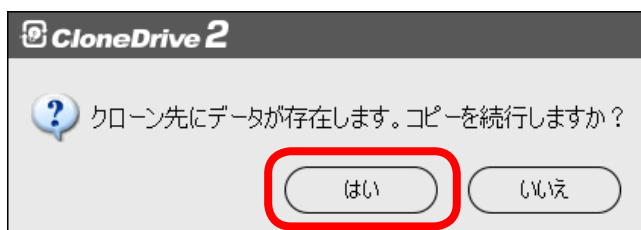


4

- 3 コピーを実行するには **スタート** をクリックします。  
※コピー先にデータが入っている場合、上書きしてコピーを開始するかを確認する画面が表示されますので、問題なければ **はい** をクリックします。

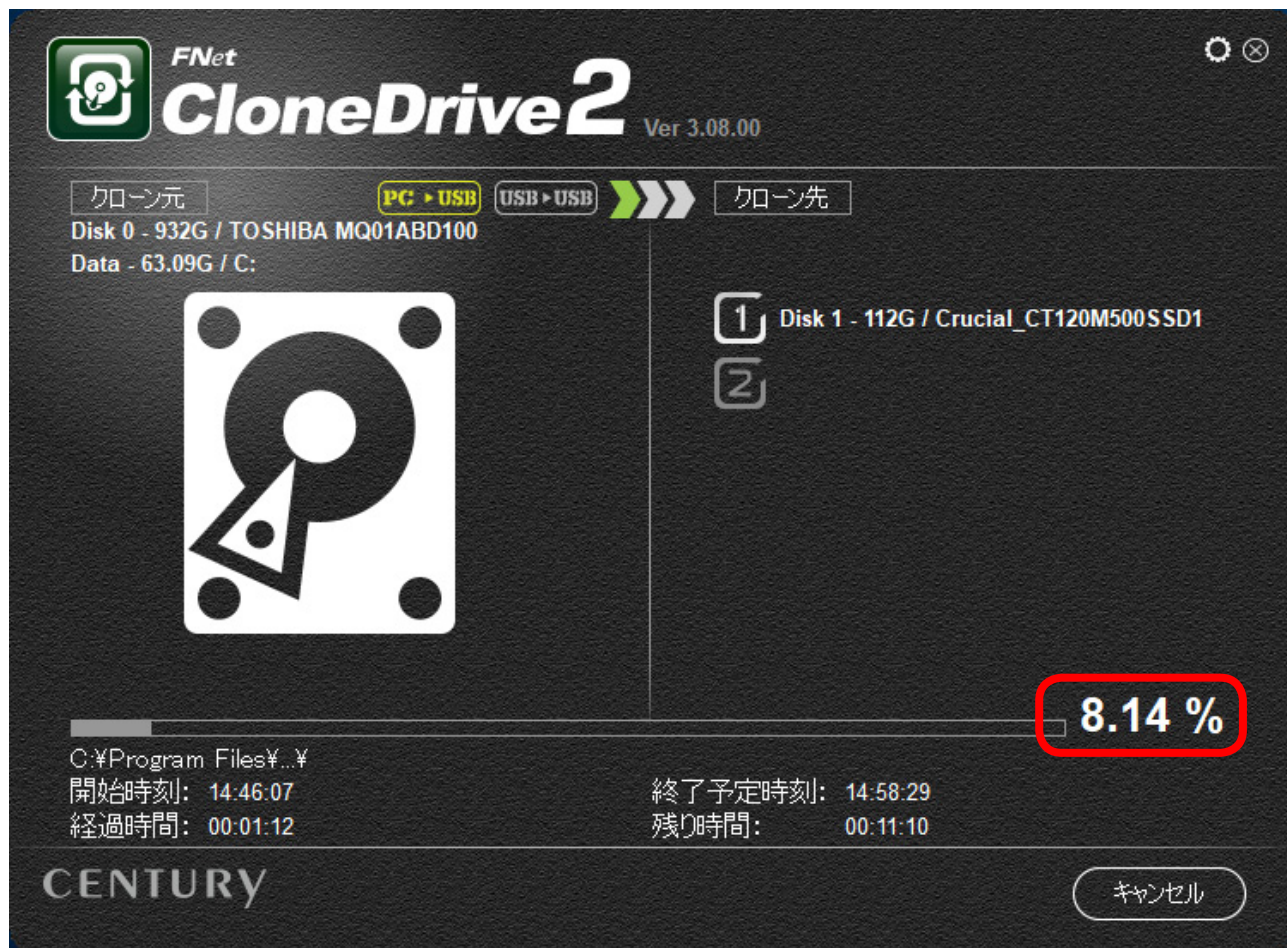


4



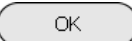


- 4 コピーが開始されると、パーセンテージが表示され、100%に達すればコピー完了となります。



※コピーが開始されるまでに時間がかかる場合がありますが、これはコピー元のファイル解析を行っているためです。

ファイル数が多いほど、コピー開始までに時間がかかりますので、あらかじめご了承ください。

- 5 コピーが終了すると「クローンが完了しました。」の画面が表示されますので、 をクリックします。



※コピー完了時、ドライブのスキャン、修復を促されるメッセージが表示されることがありますので、画面に従って修復を完了させてください。  
万ーディスクの修復を行わなかった場合でも、PC再起動時、OS起動前に自動的にディスクの修復が行われます。

- コピー完了後、「ディスクの管理」を開くとコピー先の状態を確認することができます。

※「ディスクの管理」の開き方はOSによって異なります。

詳しくは、OSのマニュアル等をご参照ください。

120GB (ディスク 0, 2パーティション) のコピー元から240GB (ディスク 1) のコピー先へコピーを行った際の例

<b>ディスク 0</b> ベーシック 119.24 GB オンライン	システムで予約済み	(C:)	ボリューム (D:)
	937 MB NTFS 正常 (システム、アクティブ、ブート)	79.26 GB NTFS 正常 (ブート、ページファイル、クラッシュダンプ、ブート)	39.06 GB NTFS 正常 (プライマリパーティション)
<b>ディスク 1</b> ベーシック 223.57 GB オンライン	システムで予約済み (E:)	(F:)	ボリューム (G:)
	1.72 GB NTFS 正常 (アクティブ、プライマリパーティション)	148.61 GB NTFS 正常 (プライマリパーティション)	73.24 GB NTFS 正常 (プライマリパーティション)

■ 未割り当て ■ プライマリパーティション

※コピー元よりコピー先の容量が大きい場合、コピー先の容量に応じて自動的に容量が加算されます。

パーティションごとの容量の割り振りはできませんので、あらかじめご了承ください。

## 〈フィルター機能を使用する〉

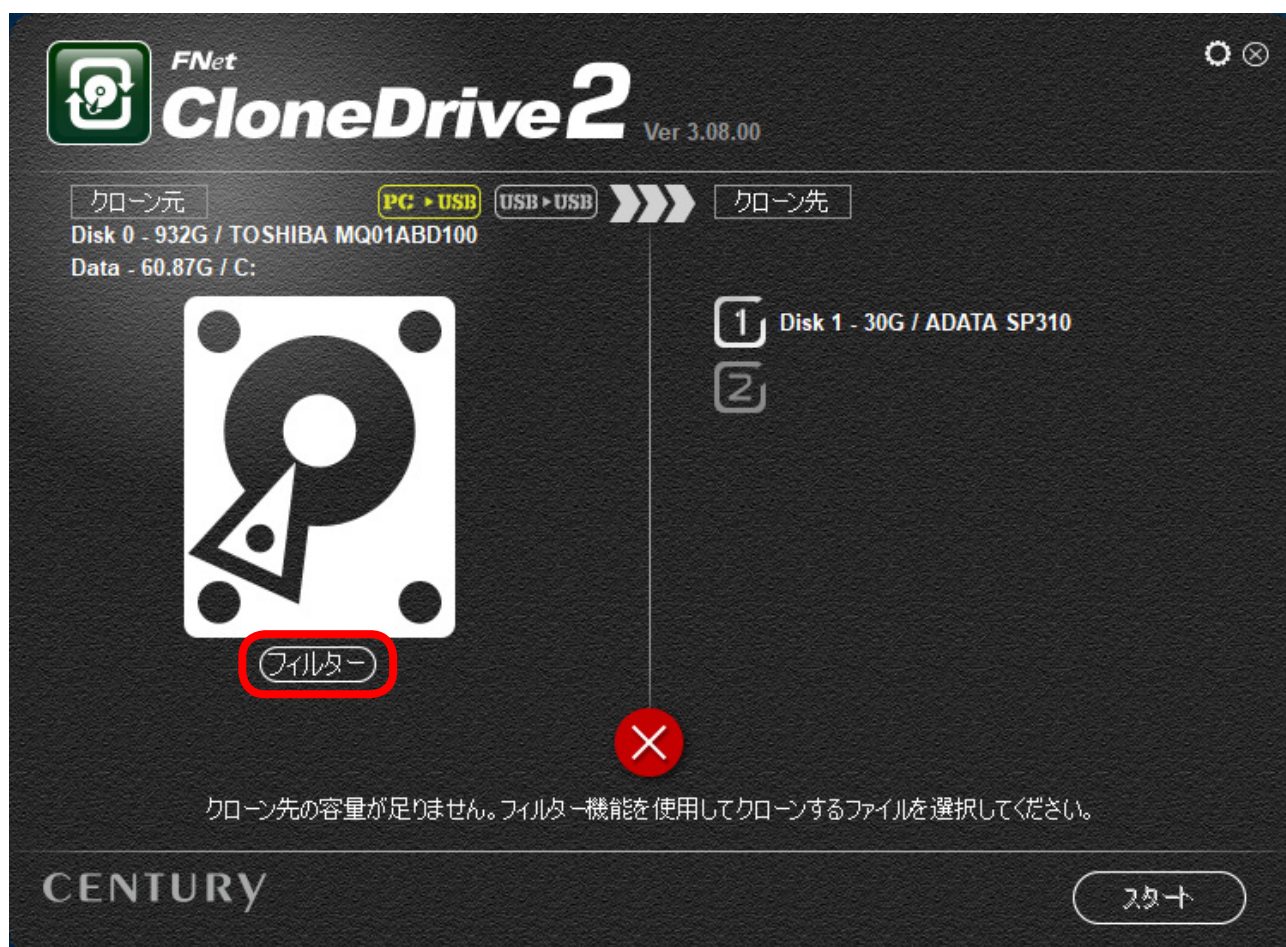


本機能は上級者向けの機能となります。操作を誤った場合、コピー先のディスクから起動が行えない場合があります。

コピー元のデータ容量がコピー先のディスク容量より多い場合、そのままではコピーできません。

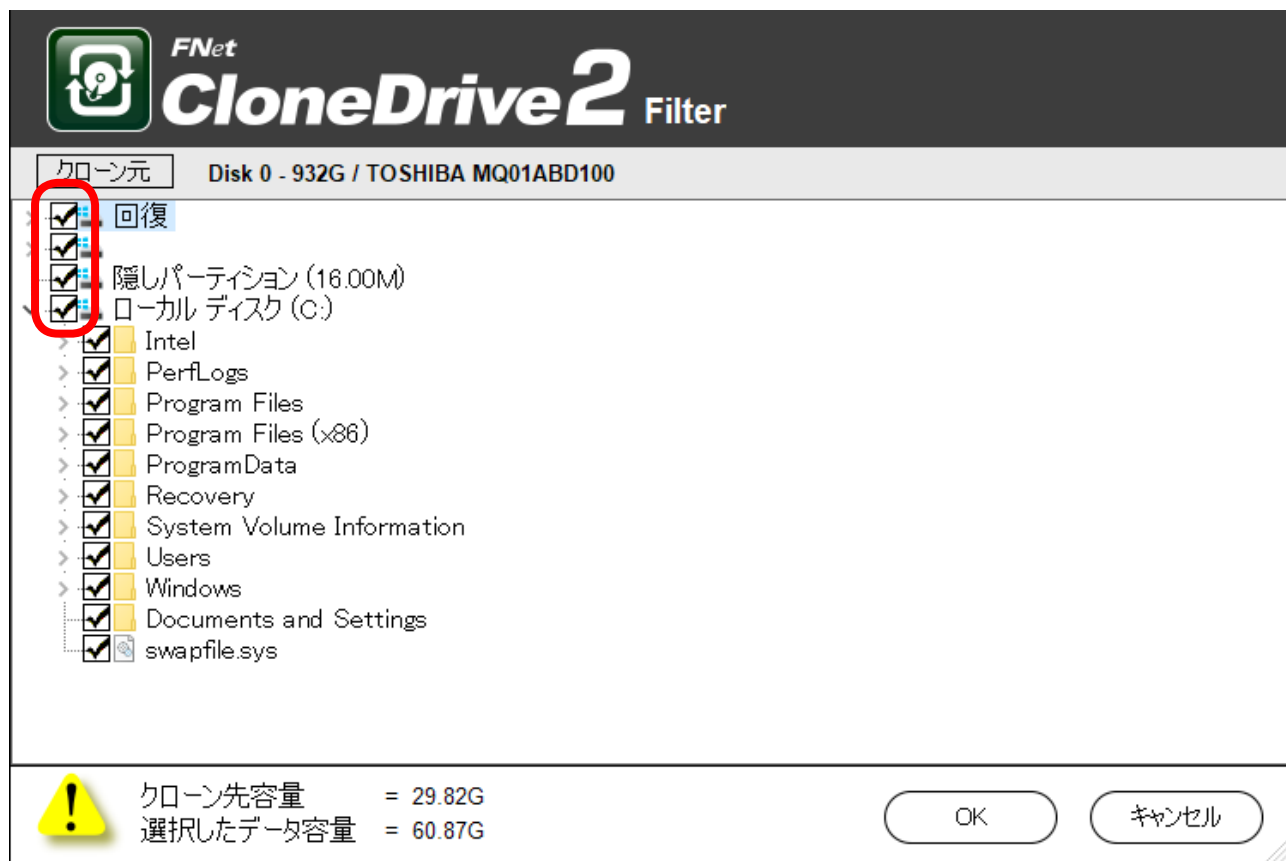
この場合、フィルター機能を使用してコピーするパーティションやファイルを選択することで、コピー先のディスク容量に収まる場合があります。

- 1 コピー元ディスクの下に表示されている **フィルター** をクリックします。





- 2 コピーするパーティションやファイルを選択する画面が表示されるので、コピーするパーティションやファイルにチェックを入れます。  
左側の「>」マークをクリックすると階層が表示され、さらに細かくファイルやフォルダを選択できます。



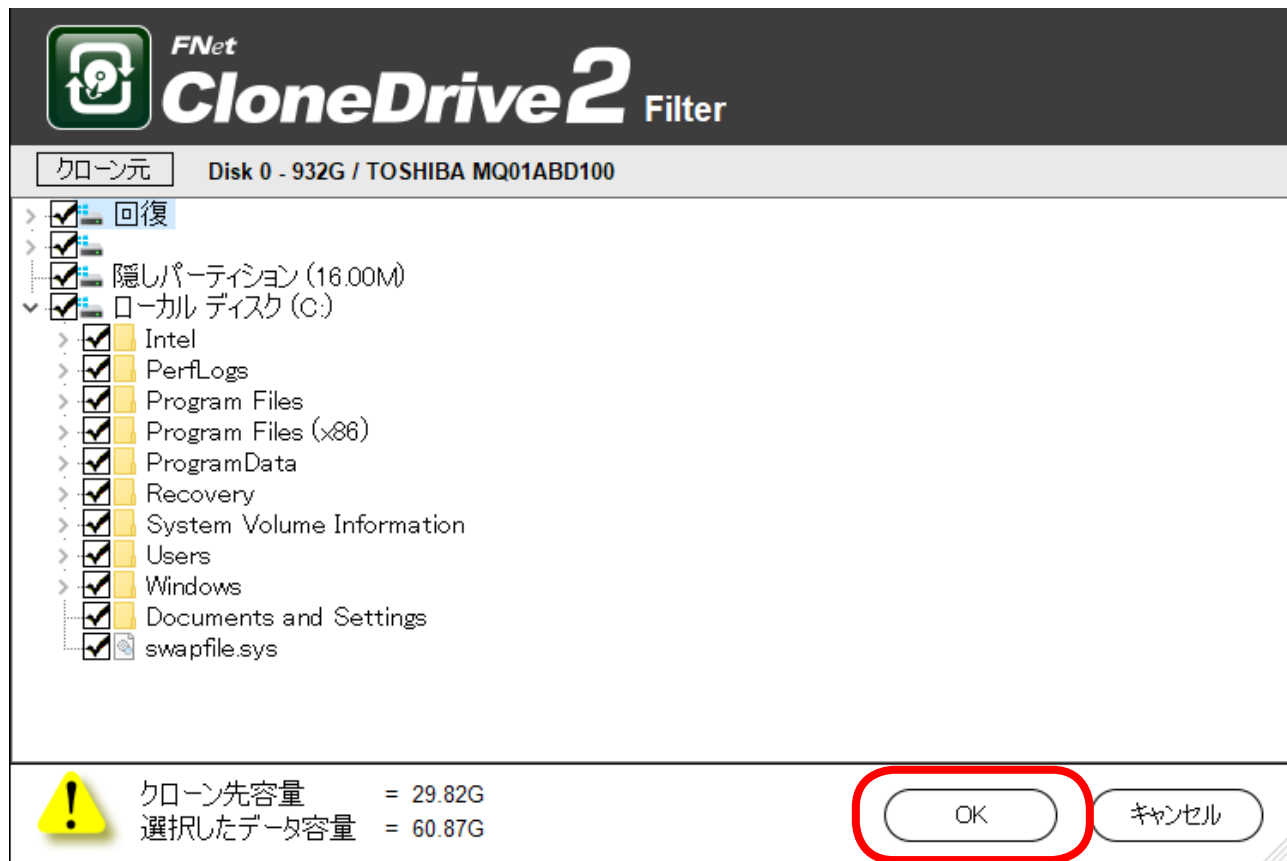
※システムに関するファイル(Hidden Partition、Windowsフォルダ、Program Files等)のチェックは外さないでください。  
コピー先のディスクで正常にOS起動ができなくなります。

**ワンポイント  
アドバイス**

容量の大きいデータは「ドキュメント」内や「ダウンロード」に入っている場合が多いので、これらのチェックを外すとコピーする容量を減らせる可能性があります。



- 3 ① パーティションやファイルを選択して  をクリックするとメイン画面に戻ります。

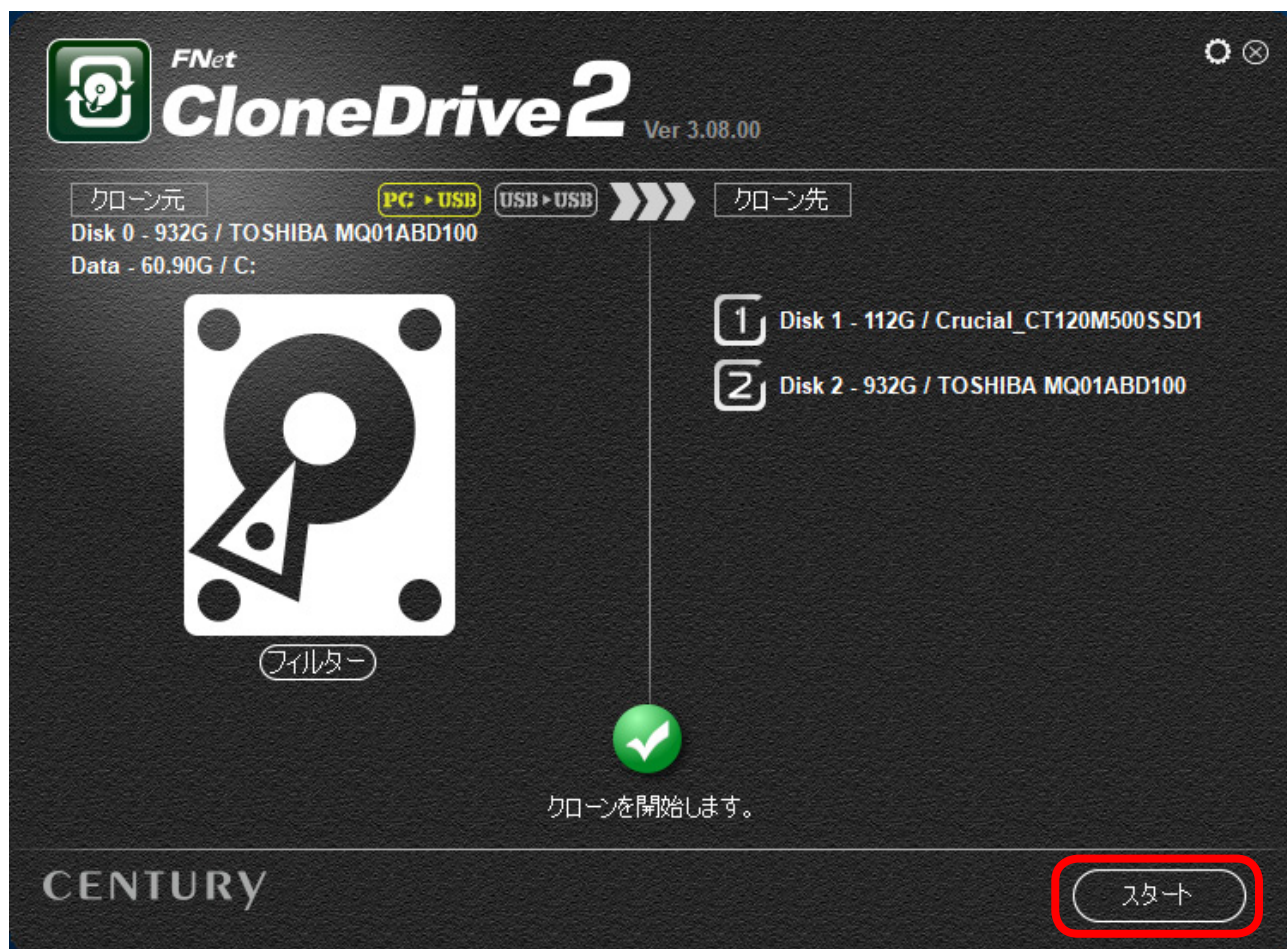


3

2

スタート

をクリックしてコピーを開始します。

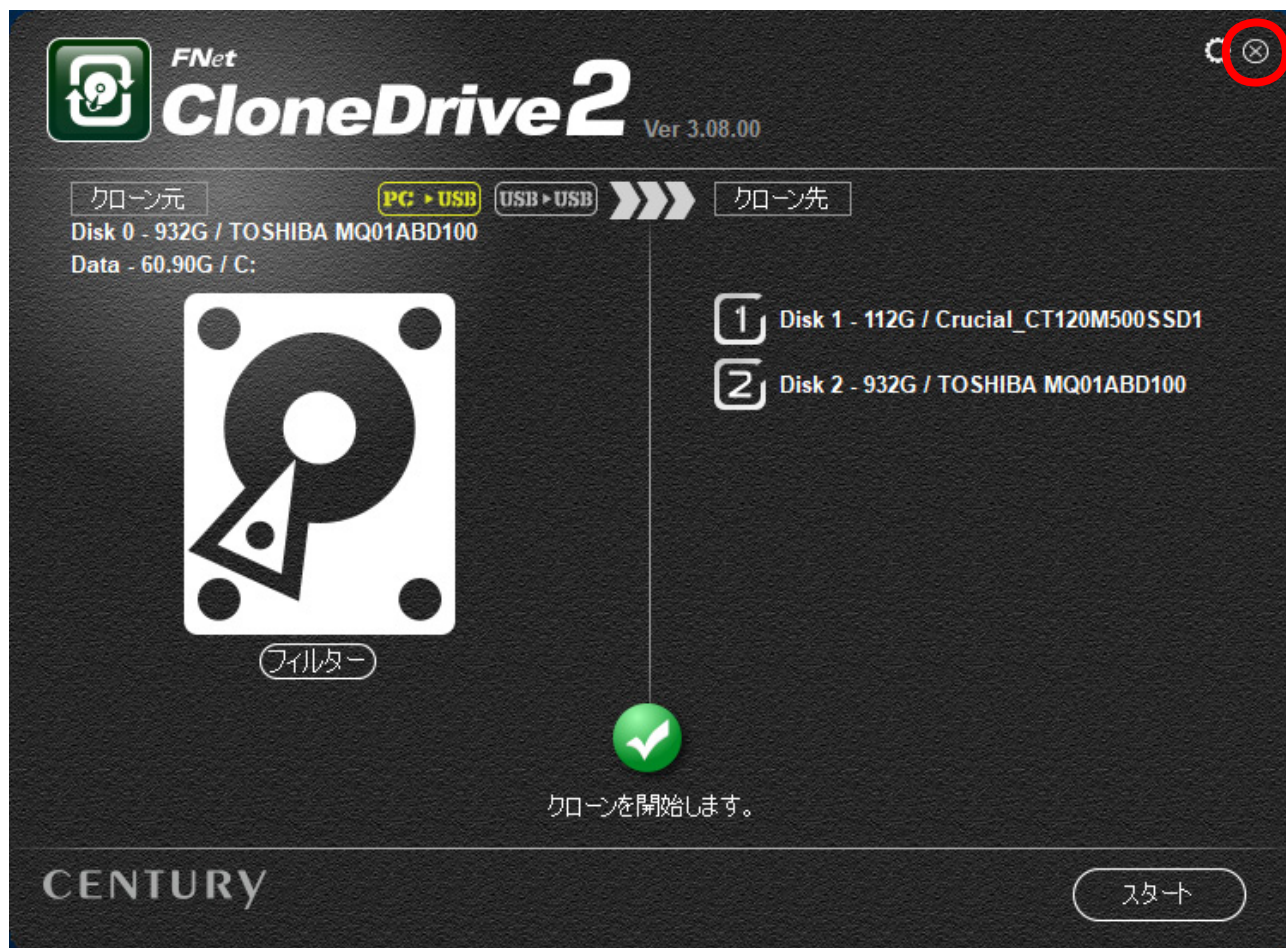


4



## 〈ソフトを終了する〉

1 ソフトウェアを終了するには、右上の「⊗マーク」をクリックします。



2 終了するか確認画面が表示されますので、 をクリックします。

